

奉協
仕力



勤誠
勉実

平成 27 年創立 50 周年



秩父地域唯一の商業高校

埼玉県立 皆野高等学校

minano high school



HP アドレス <http://www.minano-h.spec.ed.jp> TEL 0494-62-2076

今月の一言：浅い川も深く流れ



岡野校長

<経済の話>

オートバイ、自動車、耕運機、ロボットを作っている HONDA という会社の創立者が、本田宗一郎（ほんだそういちろう）であることぐらいは皆さんご存知でしょう。以下、HONDA のまだ草創期である創業 4 年目の 1952 年の話です。

当時の国産の工作機械では品質の良い製品ができなかったので、本田宗一郎はアメリカへ行って最先端の工作機械 108 台を購入しました。総額は 4 億 5 千万円で、当時のホンダの売上高の 2 割に当たる設備投資です。資本金が 6 千万円の会社ですから、資本金の 7 倍以上の金額です。しかも、当時の外貨

は大変貴重ですし、会社そのものも存続できるかどうか分からない。しかし、彼はこう考えました。「たとえ会社が倒産してもこの工作機械そのものは日本に残るから、日本にとって無駄にはならない」と。

この本田宗一郎の発想の源には、鎌倉幕府の武将である青砥藤綱（あおとふじつな）のエピソードがあったと思います。彼はある夜、幕府に出仕する途中で銭 10 文を川に落としてしまいました。そこで家来に命じて銭 50 文の松明（たいまつ）を買ってこさせて探させました。人々が、「銭 10 文を探すのに銭 50 文をかけて探すのは損（そん）だ」と嘲笑すると、彼は「銭がそのまま川の中にあったのでは天下の貨幣を永久に失うことになる。銭 50 文は自分にとっては損になるが他人を益するであろう。また、銭 50 文の松明で探して銭 10 文が返ってくれば、合わせて銭 60 文の利益は大きいではないか」と答えました。何となく解ったようで解らない話ですが、いわゆる「公共財」の考え方です。

偉い人の発想法は違うな、とつくづく思います。



2 月の教育活動

□予餞会（芸術鑑賞会）開催

2 月 22 日（金）芸術鑑賞会を兼ねた予餞会が、皆野町文化会館で開催されました。今年は、紙工劇落語で桂 小南治・林家 二楽・三遊亭 遊吉の 3 人の芸人さんをお呼びして、立体的な落語を鑑賞しました。

3 年生は、よい思い出になったと思います。



校長挨拶



三遊亭 遊吉



林家 二楽



桂 小南治



生徒会長よりお礼

□クエストカップ 2013 全国大会グランプリ獲得

2 月 13 日（土）法政大学市ヶ谷キャンパスで「クエストカップ 2013 全国大会（クエストカップ実行委員会・教育と探求社主催）」が開催され、予選（参加作品 1246 作品）通過 51 作品が集結し各部門でグランプリを競いました。



本校からは、3 年生の宮城珠理亜さんと甲池江里さんの 2 作品が自分史部門で予選を通過し、当日のプレゼンに参加しました。結果、宮城珠理亜さんの「過去に忘れていた夢」がグランプリを獲得しました。

<3 月の予定>

4 月 学力検査（生徒臨時休業）
5 火 面接（生徒臨時休業）
6 水 採点（生徒臨時休業）
8 金 選抜会議（生徒臨時休業）

1 2 火 卒業式
1 8 月 入学説明会
2 2 金 終業式

編集後記

3 月は 1 年のまとめです。
新年度からの自分の目標を設定して下さい。皆高生諸君！